



教育・福祉・環境もあなたの税で実ります

5月は市税 完納強調月間

5月は「市税完納強調月間」です。平成19年度分の市税は、5月中に納付するようお願いいたします。

土・日曜日にも納税窓口

5月10日(土)から25日(日)までの土・日曜日に市税の休日納付窓口を開設します。市県民税、固定資産税、軽自動車税は市役所2階の納税課で納付を受け付けるほか、納税相談にも応じます。国民健康保険税は市役所議場棟1階の国民年金課で受け付けます。

開設日時

5月10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)・24日(土)・25日(日)
午前8時30分～午後5時30分

問い合わせ

市県民税・固定資産税・軽自動車税は…納税課☎(866)2058
国民健康保険税は…
国民年金課☎(866)2189

軽自動車税 減免のお知らせ

平成20年度軽自動車税の納税通知書を5月1日に発送しました。次のような車両には減免の制度があります。

減免対象

身体障害者の使用のために改造したものの身体障害者などが所有し、使用するもの(減免の対象となるのは1人1台)
在宅介護(医療)に関する事業に、直接使用するもの

減免申請は、5月26日(月)まで市民税課で受け付けます。詳しくは、市ホームページをご覧ください。
<http://www.city.akita.akita.jp/city/fin/pt/>

問い合わせ

軽自動車税は…
市民税課☎(866)2054
自動車税・自動車取得税は…秋田地域振興局県税部☎(860)3331

6月2日(月)が納期の市税

固定資産税 第1期
軽自動車税 全期

市民レポーター募集

民放テレビ3局で放送している市政テレビ番組に出演しませんか？

秋田市のホットな情報を、さわやかにお茶の間に伝えてくれる市民レポーターを募集します。

対象

秋田市にお住まいで、やる気と熱意にあふれた中学生以上のかた

定員

25人(面接で選考)

活動内容

出演は年に1〜3回程度。おもに日中、市内のいち押しスポットに出かけ、レポートしてもらいます(送迎あり)。出演番組を自分で企画することもできます。報酬はありませんが、出演番組のビデオ、またはDVDをさしあげます。

申し込み

5月2日(金)から16日(金)まで、はがきか電話、ファクス、Eメールで、〒010-8560秋田市広報課視聴覚広報担当へ。
☎(866)2034
ファクス(866)2287
Eメール ro-pjpb@city.akita.akita.jp



19年度の環境貯金箱

貯金額は過去最高の

929万6千円!



ごみは8千トンの減少

みなさんのごみ減量によって節約できたごみ処理経費を、環境のために活用する「環境貯金箱作戦」。平成19年度は、基準としていた平成14年度に比べて8千トンの減り、929万6千円の貯金ができました。これは例年の2倍以上の金額で、過去最高です。

市では環境貯金を活用して、今年度は「環境にやさしい親子料理教室」や「ダンボールを活用した堆肥づくり学習会」などを行います。

これからも一人ひとりがごみの減量を心掛け、みんなで環境貯金を増やしていきましょう!

意外と知らないごみ捨てルール



♻️マークのついたペットボトルは軽くすすいで「資源化物」へ。ラベルは、はがさなくても結構です。ペットボトルのふたは「家庭ごみ」です。

♻️マークがついていないシャンプー、洗剤、ソースなどのボトルは「資源化物」ではなく「家庭ごみ」です。

問い合わせ

環境貯金の活用のお問い合わせは…
環境企画課 ☎(866)36632

環境貯金箱・ごみ減量の問い合わせは…
ごみ減量推進課 ☎(866)2943

ごみ情報は秋田市ホームページの「ごみ・リサイクル・環境」でも。

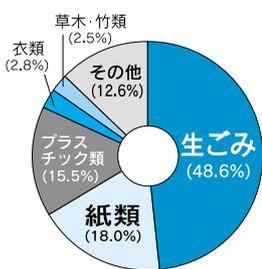
家庭ごみの中身を調べてみました

ごみの減量とリサイクル推進の基礎データとするため、昨年、季節ごとに4回、家庭ごみの中身を調査しました。収集した家庭ごみの袋の中から、中央、東、西、南、北、河辺・雄和の地域ごとに、それぞれいくつか選び、「生ごみ」「紙類」など11種類に分類して、種類ごとに重さを量りました。

1袋の平均重量がもっとも重かったのは、東部地域の4.92%で、軽かったのは西部地域の3.86%でした。

ごみの割合では、すべての地域でいちばん大きかったのが「生ごみ」で48.6%です。生ごみの水切りをしつかり行えば、ごみの重さはぐーんと減ります。生ごみの「ぎゅっと、もっひとしぼり!」を実践しましょう。

ごみの割合(市全体)



訂正とおわび

広報あきた 4月18日号11ページ「農林業関係の課の業務内容」に誤りがありました。正しくは下記のとおりです。訂正しておわびします。

- 農林総務課tel(866)2115 (農林業政策、農業振興地域)
- 農業農村振興課tel(866)2116 (生産振興、担い手、米政策、市民農園)
- 農地森林整備課tel(866)2117 (土地改良、農業集落排水、森林)

問い合わせ

男女共生・次世代育成支援室
☎(866)2141

例えばこんなテーマで
男女共生 家族関係、DV(ドメスティック・バイオレンス)など
次世代育成 お腹の赤ちゃんをどんな子に育てる? 子どもへの暴力防止にできること、性教育、食育
その他 マタニティヨガ、3B体操、親子で参加できるスポーツ ほか

いつでもOK!

出張講座

みなさんからのご要望に応じて講師が outgoing、身近な話題をもとに男女共生や次世代育成について考える講座を開きます。学校での講話、職場の研修会など、場所、内容、形式については、お気軽にご相談ください。

